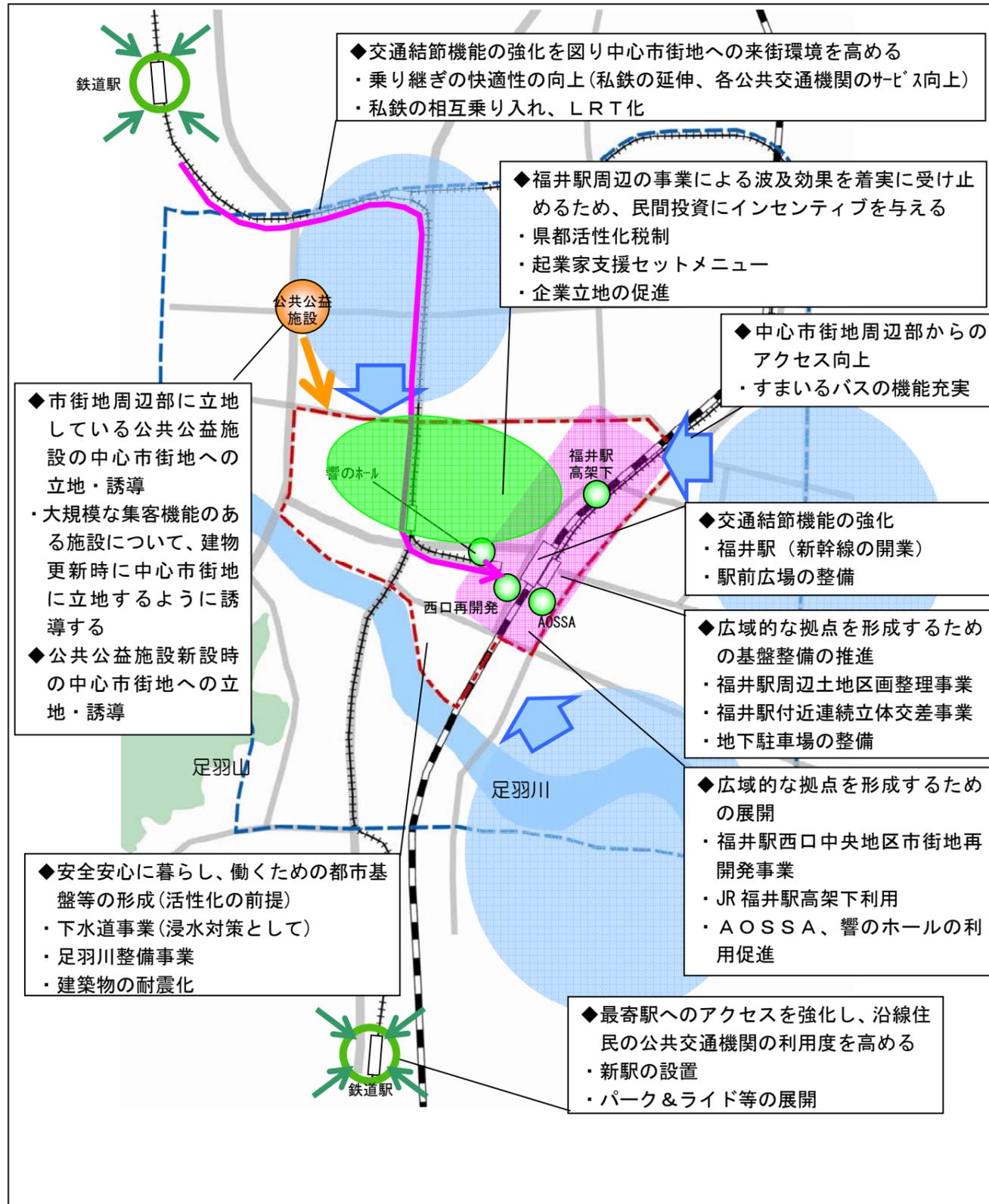
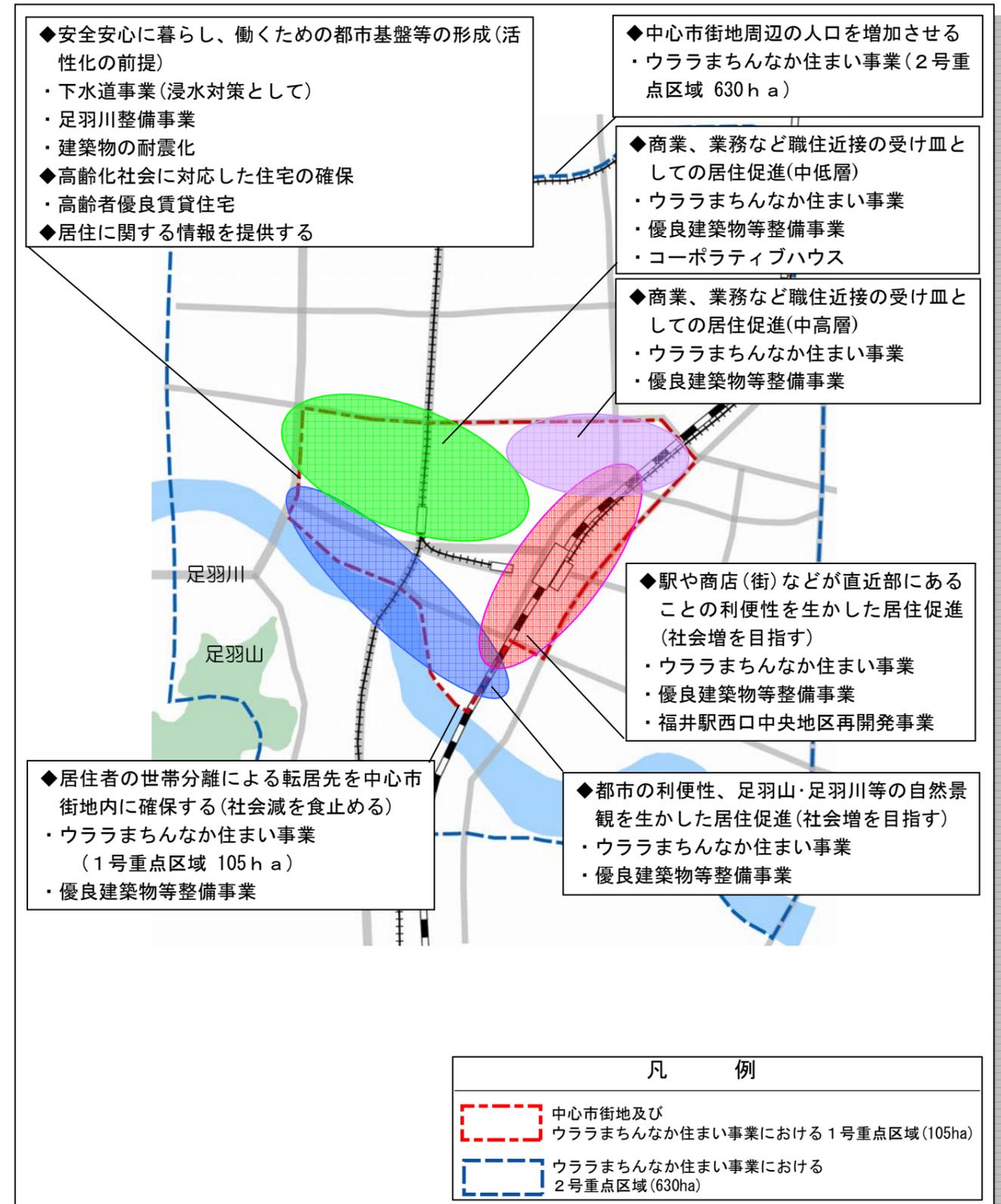


資料4 活性化していくための戦略イメージについて

1. 「目標1 訪れやすい環境をつくる」を展開していくための戦略イメージ



2. 「目標2 居住する人を増やす」を展開していくための戦略イメージ



3. 「目標3 回遊したくなる魅力を高める」を展開していくための戦略イメージ

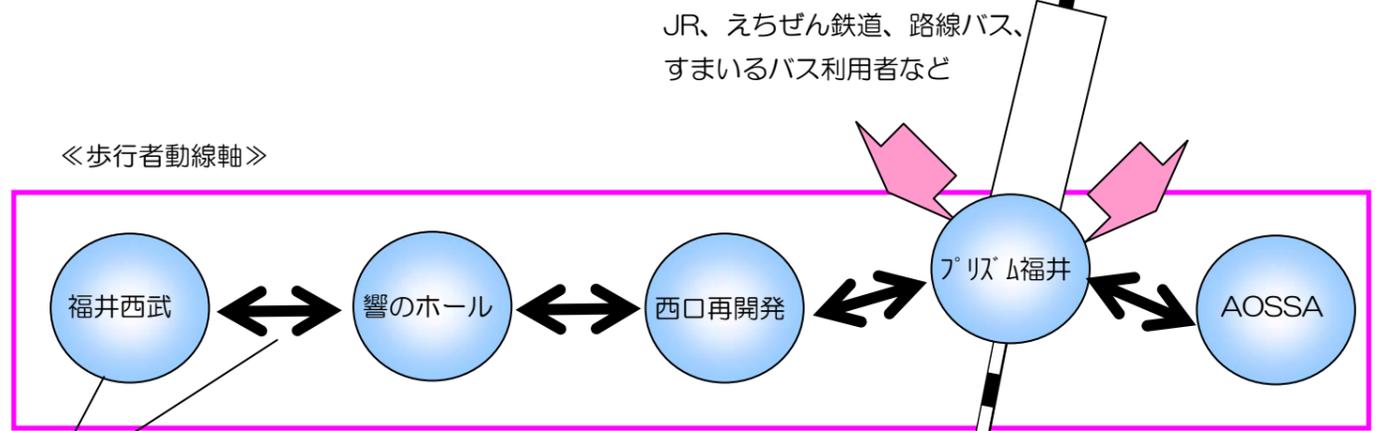
- ◆ 中心市街地と周辺部の歴史文化施設等との回遊性を高めることによって、中心市街地の魅力を向上させる
 - ・ 歴史のみち事業
 - ・ 昼夜の都市景観に配慮した規制、誘導

- ◆ 多様な業務機能の集積を図り、雇用を創出していくことによって、中心市街地における消費の拡大につなげていく
 - ・ 起業家支援セットメニュー
 - ・ 県都活性化税制
 - ・ 企業立地の促進



- ◆ 昼夜の来街機会の増加につなげていく
 - ・ 個店の魅力向上、出店機会の創出(空き店舗対策など)
 - ・ 商店街の連携強化(イベント、情報発信など)

- ◆ 歩行者骨格軸の魅力を高めた効果を波及させるために、周辺商業地への回遊性の向上、個店の魅力向上を図る
 - ・ 景観の維持向上などによる回遊性の向上
 - ・ 個店の魅力向上、出店機会の創出(空き店舗対策など)
 - ・ 商店街の連携強化(イベント、情報発信など)



- ◆ 歩行者動線軸(福井西武、響のホール、西口再開発ビル、プリズム福井、AOSSAを中心とした軸)の魅力の向上を図っていくとともに、施設間の回遊性を向上させる
 - ・ 中心施設の魅力向上(必要な機能導入、サービスの充実)
 - ・ 個店の魅力向上、出店機会の創出(空き店舗対策など)
 - ・ 商店街の連携強化(イベント、情報発信など)
 - ・ 福井駅西口中央地区市街地再開発事業
 - ・ AOSSA、響のホールの利用促進
 - ・ 賑わいづくり協議会による道路空間の活用検討